

国府地域包括支援センター 担当

日 時： 令和6年10月15日（火）午後2時10分～2時40分

会 場： 栃木市役所302会議室

事例数： 1ケース

参加者数： 11名

事例提供者1名、サービス提供事業者1名、助言者6名、
包括職員2名、傍聴者1名、

両目緑内障による視野低下、視野欠損があり、歩行が不安定な81歳女性

〈目標〉1日：時間がかかっても洗濯を続ける。

1年：歩けるようになって、外出したい。

利用サービス：介護予防通所リハビリテーション

《生活全般の解決すべき課題》

- ・外階段の昇降ができ、これからも外出したい。
- ・洗濯等の役割を持って、生活したい。

《助言者からの助言内容》

- ・緑内障は失明率が高く、手術が適用であれば、できるだけ手術を受けることが望ましい。
- ・今後インプラント治療をする場合には、主治医とよく相談して決めていく。
- ・口の渇きは薬や点眼液の影響も考えられるため、医師に相談して薬を調整してもらおう。
- ・今後も本人の状態に合わせて、家庭内で役割（洗濯）が続けられるよう、やり方の工夫や環境調整が必要。
- ・カルシウムだけではなく、肉や色のついた野菜を摂取して、骨粗鬆症を予防する。
- ・役割や社会とのつながりを切らないためにも、買い物に行く機会をつくる。



今後ますます視力が低下した場合でも、歩行能力が維持できるようにリハビリを継続し、洗濯が継続できるようなアドバイスをすることで、自宅での役割を持って生活が続けられるよう支援する。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

特になし。